

「エシカル消費」普及へロゴマーク

県はこのほど、人や社会、環境に配慮して作られた商品やサービスを購入する「エシカル消費」の普及に向けてロゴマークを作成した。インターネット投票などによる選挙の結果、静岡文化芸術大3年の長谷川莉奈さんの作品が選ばれた。

県によると、エシカル消費のロゴマークを都道府県単位で作成するのは本県が初めて。呼称が浸透しておらず、県西部県民生活センターがエシカル消費に興味を持ってもらおうと企画した。



「エシカル消費」普及に向けて県が作成したロゴマーク

県作成、静岡文化芸術大生が原案

ロゴマークは同大の学生11人が14種類の原案を作成。それを3種類に絞り込み、ネット投票や審査員による採点、浜松市でエシカル消費をテーマに開いたイベントの来場者による投票で、長谷川さんの作品に決まった。創意工夫や応用性が高く評価された。

つながりや繰り返し、地球の意味を込めた円にエシカルを表すアルファベットを織り込んだ。「エシカル消費はかっこいいと思ってもらえるような構成にした」という。

ロゴマークは今後、フェアトレード商品に添えるなどして活用してもらおう。県民生活課の担当者は「ロゴマークを使っている人は、人や環境を考えて生活していると分かる。これをきっかけにエシカル消費が広がってほしい」と話した。